

ほすびたる

No.743

令和元年12月20日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

会員広報	第 11 回福岡県病院協会参与・ 各種委員会正副委員長懇談会	公益社団法人福岡県病院協会 専務理事	平 祐二	1
新人物	新任挨拶	社会医療法人原土井病院 院長	野村 秀幸	8
病院管理	日本赤十字社における 看護服装の歴史	福岡赤十字病院 看護師長	橋爪 朋子	9
	当院における医師事務支援について	宗像水光会総合病院 医師事務支援室	新川 陽子	11
	職員研修の取組みについて ～接遇福岡ナンバーワンを目指して～	宗像水光会総合病院 総務課	櫻井 美保	13
臨床	心房細動治療の最新事情	福岡赤十字病院 循環器内科部長・集中治療部部長	向井 靖	16
看護の窓	人生100年時代の 看護職の働き方について	福岡国際医療福祉学院 副学院長 国際医療福祉大学九州地区生涯教育センター 顧問	神坂 登世子	18
Letter	時事管見 ～大いにあり得る	国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園看護専門学校 名誉校長	朔 元則	20
Essay	お酒とわたし	元医療法人誠十字病院 平衡神経科 医師	安田 宏一	23
	人体旅行記 臍（その三）	国立病院機構都城医療センター 副院長	吉住 秀之	25

■福岡県私設病院協会「令和元年 11 月福岡県私設病院協会の動き」 22

■福岡県病院協会だより 26

■編集後記 岡嶋泰一郎 29

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生方向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

病院寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテン・ベッドマットのリース・洗濯
患者私物衣類の洗濯・紙おむつ・介護用品等の販売

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

理事長 江頭啓介

専務理事 佐田 正之
理事 原 寛
理事 陣内 重三
理事 牟田 和男

理事 津留 英智
監事 杉 健三
監事 松村 順
事務局長 日比生英一



JQA-QMA
15863



〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田1217-17
TEL(092)976-0500 FAX(092)976-2247

Clean & Comfortable
清潔さと快適さを追求します



第11回 福岡県病院協会 参与・各種委員会 正副委員長・役員懇談会報告

会員広報

◎公益社団法人 福岡県病院協会 専務理事 平 祐二

日 時 令和元年12月3日（火）17時～18時
場 所 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション
3階 オリエンタルボールルーム恵比寿
福岡市博多区博多駅中央街4-23
出席者 病院協会参与6名（うち役員の再掲1名）、
各種委員会正副委員長14名、
役員22名（うち委員長の再掲1名）
計40名

赤司会長が挨拶の後、座長となって議事を進めました。

1 参与の紹介（平専務理事）

当日出席された参与（大和日美子参与、大山茂参与、中溝康司氏（北村啓参与代理）、井上正義参与、井上真由美参与）の方々を順次御紹介し、参与からは簡単に挨拶いただきました。

2 第13回県民公開医療シンポジウムの報告（澄井運営委員長）

8月31日（土）の14時から北九州市小倉北区の北九州国際会議場メインホールにて、当院の糖尿病・内分泌代謝内科医長・糖尿病センター長である的場ゆか先生と私の2名が座長を務め、「「令和」を健やかに生きよう！ ～糖尿病は認知症やサルコペニアにもご用心～」というテーマで開催しました。

最初に、北九州市立病院機構 北九州市立医療センター 内分泌代謝・糖尿病内科 主任部長 足立雅広先生から「高齢者の糖尿病」という演題で、高齢者の血糖の変動の特徴や加齢に伴う

身体の変化に応じた予防の必要性や、「老年症候群」という概念をお話し頂きました。次に、「認知症と糖尿病」について、当院の精神・神経センター長 精神科医長 三浦智史 先生に講演して頂きました。認知症は、参加者の関心が高い疾患で、糖尿病との関係も含め、非常に分かり易かったと好評でした。認知症は徐々に進行し初期は気付きにくいですが、社会との繋がりや運動が認知機能や意欲の低下の予防に重要でその内容でした。最後の、中村学園大学 栄養科学部 栄養科学科 教授 河手久弥 先生のご講演では、「サルコペニア」や「フレイル」という新しい概念とその予防を糖尿病との関係でお話頂きました。高齢者の糖尿病の予防には、蛋白質を含んだ食事のバランスと適度な運動で筋肉をつけることの大切さを強調されました。3名の講演後に、会場からの質問に対し、講師の先生方にお答え頂きました。

参加者数は105名（うち一般参加83名）と例年に比べ、少なかったのですが、アンケート（回収率81.9%）の結果では、いずれの講演に関しても多くの参加者には有意義だったようで、講演時間も適当な長さとの回答でした。参加者の年齢分布は20～80歳代と幅広く、70歳代が最多でした。参加者の職業では、主婦の方が28%と最も多く、医療従事者17%、看護師12%で、自分の仕事に有用なので参加したという結果が注目されました。高齢者の糖尿病治療における食生活や運動習慣の重要性を認識して頂けたと思います。

3 各委員会からの報告

ア 病院研修会

病院委員会 委員長 上野 道雄
(国立病院機構福岡東医療センター 名誉院長)

公益法人化の際、本協会の各種研修会は高く評価されました。その際、「病院協会には医師や院長を対象にした研修会がないのか。ほぼ全ての公的病院と多くの私設病院が参加する福岡県病院協会が種々の問題で情報共有と議論の場を提供することは、公益法人として相応しいと思われる」との話を頂きました。福岡県病院協会の歴史を振り返って見ると、医師、特に病院幹部を対象とした研修会は存在していた。ところが、御多分に漏れず、医師の出席者が揃わず、事務系の委員会に衣替えされた結果、事務系の研修会が複数出現した次第です。病院幹部だけで会場を満たす自信はなく、病院の職員全体が関心を持つテーマを探して、地域医療、医療事故、感染症、災害と続け、去年は感染症と事業継続計画【BCP Business Continuity Plan】を開催しました。看護師や事務職の助けを借りて、どうにか大過のない出席者を確保してきました。

協会に全く自信がなかったことから、恥ずかしい話ですが、病院研修会の会費は1000円に抑えてやってきました。今回、病院協会の財務状況も加わり、『1000円の参加費では運営益がでず、他の研修会、他の医療職に申し訳ない』『1000円だから出席する訳でもないやろう』との哀しい議論を経て、人並の参加費になった次第です。是非、ご参加ください。

本年度は当協会理事の安藤文英先生の世話で、令和2年1月23日、九州大学医学部百年講堂で、18時に開催します。『医師の働き方改革—働き方改革は勤務医の在り方をどう変えるのか?—』とのテーマで語り合ってください。講演は、社会医療法人ベガサス理事長の馬場武彦氏に『医師の働き方改革—今後の病院の対応について—』、社会医療法人雪の聖母会 聖マ

リア病院長の島弘志氏に『働き方改革への聖マリア病院の対応』、全国医師ユニオン代表の植山直人氏に『勤務医からみた医師の働き方改革—ワークライフバランスと医療供給体制—』で、さくら病院理事長の江頭啓介先生も加わってシンポジウムを開催します。

宜しくおねがいします。

イ 看護研修会

看護委員会 委員長 上野 知昭
(久留米大学病院 副院長・看護部長)

少子高齢化や医療技術の飛躍的な進歩により、日本の医療・介護を取り巻く環境は大きく変化している。医療・看護サービスの需要の増大、生産年齢人口の減少による医療を担う人材の減少、社会保障費の増大などの問題や診療報酬における入院基本料の体系の変更にも適応が求められる。このような背景を考慮し、看護委員会では安全で質の高い看護サービスの提供、看護職員の資質向上を目的とした研修会を実施している。今年度は、患者の急変の兆候を捉えて対応する仕組み、医療安全と倫理的課題、ポジティブ・マネジメントなどの研修会が終了し、12月末には、看護職と看護補助者の協働を推進するために「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」を企画した。「急性期看護補助体制加算、看護補助加算」施設基準の所定の研修に該当する内容である。

研修に対する受講者のアンケート結果は、講演に対する満足度は90%を上回っている。次年度も、診療報酬改定や現場の看護職のニーズに応える研修会を企画する予定である。

【令和元年度 看護研修会】

第156回看護研修会(6月10日)

「急変の気づきと対応

—バイタルサインの変化の重要性—」

講師 九州大学病院

集中治療部 医師 牧 盾

九州大学病院

集中ケア認定看護師 鳥羽 好和
公立学校共済組合九州中央病院
救急看護認定看護師 楠 久絵

第 157 回看護研修会 (8 月 27 日)

「医療安全と倫理的課題」

「高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア」

講師 九州大学大学院医学研究院

医療経営・管理学講座

准教授 鮎澤 純子

久留米大学病院

老人看護専門看護師 秋吉 知子

第 158 回看護研修会 (10 月 15 日)

「看護のためのポジティブ・マネジメント」

講師 千葉大学大学院 看護学研究科

教授 手島 恵

第 159 回看護研修会 (12 月 22 日)

「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」

講師 湘南医療大学保健医療学部

看護学科長 川本 利恵子

ウ 診療情報管理研究研修会

診療情報管理研究委員会 委員長 西山 謙
(九州大学病院 病院長特任補佐)

今年度は理事・委員の変更はなく、増本理事・森田理事のもと研修会活動を行っている。委員も慣れてきており、更に研修会を盛り立てている。

従来から病院間の情報共有を含めた診療情報管理業務の底上げのために「研修会の年間 2 回開催」という目標がある。今年度も「1 日開催の研修会を年 2 回」で行う方針が委員会で承認された。

1 回目を 8 月 20 日 (火) に開催した (概要は資料末参照)。はじめに森田理事が「診療情報管理士への期待」というテーマで講演を行った。心臓血管外科医の立場と病院管理者とから見た診療情報管理の重要性、情報活用への期待が込められた内容であった。また、済生会八幡総合病院 塩塚氏から事例を含めた診療情報管

理の再構築ということでの講演が午前中にあり、診療情報管理の業務を整理するには参考となる内容であった。

午後からは「DPC 業務」をテーマとし、DPC データ活用の業界先駆者である国際医療福祉大学大学院教授の石川ベンジャミン光一先生から「院内の診療活動への理解を深めるための DPC データの活用」ということで講演が行われ、院内での DPC データの活用の重要性を確認できる内容であった。更にシンポジウムでは、DPC の病名チェック、DPC 調査の運用、データ活用について議論を行った。急性期病院では DPC 導入から 10 年を経過した病院が多いことから、今一度、DPC データ活用について学ぶ機会を設け、更なる情報の利活用を期待するものであった。

2 回目は令和 2 年 2 月 18 日 (火) に行う予定である。「統計」「ICD11」そして、中小病院を対象とした壇上での対話型シンポジウムを企画しているところである。院内の中で、一人で診療情報管理業務を行っている施設はまだ多く、このような研修会に参加することで、情報提供、同じような立場の仲間と接点が重要となる。誰もが業務の中で課題、問題を抱える中で、少しでも解決となる有意義な研修会を心掛けたい。

今年度も企画、プログラム調整の責任者を決めることで、委員の自主性を高める試みを行い、委員の底上げを実施している。また、プログラムに委員企画コーナーを設け、研修会の活性化を図っている。今年 1 回目の研修会では、済生会福岡総合病院の土橋委員による「診療記録の重要性について」という内容であり、各施設が共有できる内容であった。

今後においてもチームワークで福岡県の診療情報管理における分野を盛り立てていきたいところである。

エ 栄養管理研修会

栄養管理委員会 委員長 樋口 則子
(国家公務員共済組合連合会浜の町病院 栄養科長)

第68回栄養管理研修会を、2019年8月24日、九州大学医学部百年講堂において開催いたしました。

今回の研修では、日本人の死亡原因1位（平成29年人口動態統計）である癌、2016年に1,000万人を超え、罹患数世界第9位となった糖尿病、超高齢化社会に伴い長期間寝たきりとなった場合等に起こりやすい褥瘡ということから、今の医療現場で求められている、重要な栄養管理について最新情報を交え、4名の先生方にご講演いただきました。

研修会で実施したアンケート調査の結果を報告します。

参加人数は270名（うち非会員18%）、回収数は241名（回答率89.2%）であり、職種の内訳は管理栄養士・栄養士（83%）、看護師（14%）、その他（3%）でした。講義の評価は、全ての講義において「とても良い」が50%以上であり、普通以上と合わせると90%以上となり高い評価でした。研修会参加の理由としては、テーマに興味があった64%、業務に役立つ51%の順に多くっており、参加者が日常業務に役立つ講演内容を望んでいることが分かりました。また、最近は取得できる認定単位の種類の多さをあげる人が増加傾向にあります。今後の希望する講演内容として「高齢者の栄養管理」「低栄養」の順で多くっており、講演会の感想として「医師・看護師・管理栄養士と違った視点で栄養管理について聞くことができて良かった。今後の患者支援に役立てていきたい」などが多数ありました。これらの結果を踏まえて、次の研修会を計画していきたいと思えます。

オ 臨床検査研修会

臨床検査委員会 委員長 太田 りか
（国家公務員共済組合連合会浜の町病院臨床検査部 技師長）

平成30年度研修会のテーマは「臨床検査の精度管理 ―医療法改正を踏まえて―」としました。

基調講演は「検体検査の精度・品質に係わる

法改正の背景と課題」をキューリン品質保証担当取締役の小山宣輝先生にお願いしました。法改正の趣旨として、ゲノム医療の実用化に向けた体制整備が求められる中、遺伝子検査・染色体検査を含む検体検査の品質・精度の確保が重要とされました。医療機関の検査室においても、適切な管理を行うことが法律で明確にされました。

一般講演は、医療機関の検査室の現状として、産業医科大学病院の生化学検査の精度保証の取り組みをご講演いただきました。検査方法の妥当性の確認や検査前プロセスに視点を置いた正しい採血手技の研修を看護師にされていました。当院でも同様の研修会を行い、指導看護師から賛同を得て、検査前プロセスの重要性を周知できました。

飯塚病院から、ISO15189を取得されている検査室の現状をご講演いただきました。品質が担保され、品質マネジメントシステムによる改善と自浄作用をもつ検査室であること、精度管理データの丁寧なレビューに努めること、ISO15189は技師に考えることを要求し、PDCAサイクルを効果的に実践してありました。

今年度のテーマは、「令和時代における臨床検査～AIと感染症を中心に～」としました。令和新时代、AIが臨床検査にどのように取り込まれていくのか。また、オリンピックイヤーに懸念される感染症の最新知見、診療報酬改定を学ぶ内容で予定しています。

カ リハビリテーション研修会

リハビリテーション委員会 委員長 梅津 祐一
（医療法人共和会小倉リハビリテーション病院 院長）

本年度より浜村前委員長よりリハビリテーション委員長を引き継ぎました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和元年度第1回リハビリテーション研修会は、「病院運営の課題」をメインテーマに、10月19日、ナースプラザ福岡を会場に開催し

194名の参加があった。今回の研修会では、高齢者や認知症高齢者の急増による自動車事故の問題など、判断力や注意力の低下、遂行機能の低下など、リハビリテーションの役割を再認識することを取り上げた。その目的で、基調講演は博愛会病院の岡崎哲也副院長に、高次脳機能障害のリハビリテーションについて講演いただいた。また、シンポジウムはリハビリテーション診療・運営上の課題を議論し、その対策を共有することによりさらに良質なりハビリテーションを提供することを目的に、立場の違う5名の演者により行なわれた。急性期におけるリハビリテーション医療、回復期リハビリテーション病棟における課題、リハビリテーション専門病棟での病棟運営管理、リハビリテーションにおける高度先進医療の導入、疾患別リハビリテーション料における診療報酬請求上の課題などについて運営上の課題が報告された。発表後に総合討論を行い、診療現場での課題を整理し情報共有を行なうことができた。

第2回リハビリテーション研修会は、リハビリテーション領域の診療報酬改定の内容をテーマに令和2年3月下旬に開催予定である。

キ 経営管理研究会

経営管理委員会 委員長 中島 克洋
(福岡県済生会福岡総合病院 事務部長)

1 委員会開催報告

1) 令和元年度第1回経営管理委員会 (令和元年11月26日開催)

協議事項

- ・委員の交代について
- ・令和元年度第1回経営管理研究会報告
- ・令和元年度第2回経営管理研究会の開催について
- ・令和元年度福岡県病院協会参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会、「ほすびたる」誌への掲載原稿について

2) 令和元年度第2回経営管理委員会 (令和2年3月開催予定)

- ・令和元年度第2回経営管理研修会報告
- ・令和2年度第1回経営管理研究会開催打合せ

2 研究会開催報告

1) 第1回経営管理研究会

- ・開催日時 令和元年6月17日(月)
15～17時
- ・会場 九州大学医学部百年講堂1階
「大ホール」
- ・テーマ及び講師、座長
「福岡県における地域医療構想の進捗状況」

講師 産業医科大学医学部
公衆衛生学 准教授
村松 圭司 先生

座長 公益社団法人福岡県病院
協会担当理事
国立病院機構小倉医療センター
院長 澄井 俊彦 先生

「福岡県における在宅医療（訪問診療）の現況と将来の予測」

講師 福岡県医師会常任理事
辻内科クリニック
院長 辻 裕二 先生

座長 公益社団法人福岡県病院
協会担当理事
済生会福岡総合病院
院長 松浦 弘 先生

- ・参加者 228人
(会員174人、会員外54人)

我が国は人口減少・少子高齢社会を迎え、特に団塊世代が後期高齢者となる2025年に於いて地域のあるべき医療・介護の提供体制の構築に向け、医療法に基づき、「地域包括ケアシステム」、「地域医療構想」が国策

として進められている。福岡県でも平成29年3月「福岡県地域医療構想」が策定され、福岡県内各13の構想区域（医療圏）で、地域医療構想調整会議、あるいは部会にて、公的医療機関等2025プランを中心に議論が進められてきた。

地域医療構想は、各都道府県においてその取組状況や進捗状況は様々だが、内閣府（骨太方針2018年）より『公的・公立病院の再編統合、病床のダウンサイジングを進めよ』と地域医療構想実現にむけて議論をもっと活性化するようにとの指示もあり、各都道府県に地域医療構想アドバイザーが設置された。

第1回の研究会は、その福岡県地域医療構想アドバイザーの先生方より「福岡県の地域医療構想の進捗」と「在宅医療の現況と将来予測」についてお話を伺った。

2) 第2回経営管理研究会（予定）

・開催日 令和2年2月20日（木）

・会場 九州大学医学部百年講堂

・テーマ及び講師

「2020年度 診療報酬改定について」（仮）

講師 社会医療法人雪の聖母会
聖マリア病院 病院長
島 弘志 先生

ク 医療事務研究会

医療事務委員会 委員長 西山奉之
(国家公務員共済組合連合会浜の町病院 医事課長)

〈平成30年度〉

第118回医療事務研究会

日時 平成31年3月13日（水）

場所 九州大学医学部百年講堂
福岡市東区馬出3-1-1

研修内容 今回の研修では、「未収金、査定」をテーマに3演題を講演していただいた。

① 福岡県病院協会医療事務委員会 副委員長・医療法人済世会河野病院 顧問 大谷哲也氏による「査定のアンケート調査報告」

② 医療法人徳洲会福岡徳洲会病院 医事課長 栗栖政幸氏による「福岡徳洲会病院の未収金の現状報告」

③ 社会保険診療報酬支払基金福岡支部 医療顧問（主任審査員）高木誠一先生による「査定」についての講演だった。

特に③の高木先生は、支払基金の主任審査員ということで大変興味深いお話を聞くことができた。講演には、206名の方に参加していただいた。

〈令和元年度〉

第119回医療事務研究会 開催予定

日時 令和2年3月25日（水）

場所 九州大学医学部百年講堂
福岡市東区馬出3-1-1

講師 株式会社リンクアップラボ
代表 酒井麻由美 先生

研修内容 「2020年診療報酬改定内容の概要」（仮題）

2020年（令和2年）4月の診療報酬改定の内容を直前にお話ししていただき参加医療機関の参考になればと開催予定である。

4 参与のご意見

ア 大和日美子参与(福岡県看護協会 会長)のご意見

私も、病院や学校の勤務時代は、病院協会の研修会を受講したり機関誌を拝読していましたが、非常にありがたく思っていました。企画、

実践及びこうした評価を通じて、よりよい研修になっていくのではないかと思います。

2025 年に向けて県内では 5,700 名の看護職員が不足すると推計されており、看護職員の確保が重要な課題となっています。その対策として、多職種間のタスクシフトやタスクシェアによる働き方改革について、病院協会や病院の皆さんとも検討していきたい。今後、こうした内容も含め、研修会を開催いただけるとありがたい。

イ 大山 茂参与（福岡県歯科医師会 会長） のご意見

各種委員会の報告を聞き、日常の時間を割いてこれだけの研修に取り組まれていることに感心しました。

病院協会の取組をより効果的にする上で、我々としても、県民公開講座や栄養の場面で協力できるのであれば、提案等をしていきたい。県歯科医師会でも「オーラルフレイル」の啓発に取り組んでいるが、県民への浸透が不十分と感じており、病院協会の先生方の協力も得て改善に取り組んでいきたい。

ウ 中溝康司氏（西日本シティ銀行北村参与の代理） のご意見

タイムリーな話題と方向性を先んじてテーマを検討していると実感しました。医師の働き方改革や看護補助者活用推進の取組が効果を出していくことを期待しています。また、高齢者による交通事故が増加する中、リハビリテーションの現場でもこの問題に直面していることを改めて感じました。

病院協会の取組が県内の医療の質の向上に大きく貢献していると感じました。

エ 井上正美参与（福岡県弁護士会 弁護士） のご意見

医療に関する問題について、8つの委員会に分け、それぞれで、多くは4回にわたる研修会に取り組んでいることに感服しました。また、委員会報告の中で述べられた「（医療スタッフの）誰もが業務の中で課題を抱えている中、少しでも解決となるよう、有意義な研修会を心掛けたい」との言葉に、高い志を感じました。

弁護士会にも約 70 の委員会がありますが、本日聞いた病院協会の取組を持ち帰り、負けないように頑張っていきたい。

オ 井上真由美参与（西日本新聞社 編集委員） のご意見

日々医療関係者を取材していますが、多忙な中、タイムリーなテーマで様々な研修をしていることに尊敬の念を抱きました。当新聞社でも、紙面や web で医療情報を提供していますが、認知症、がん、栄養などは一般の方の関心が高いと実感しています。今後も、研修を重ね、情報発信をしていただきたい。

また、「ほすびたる」は毎号拝読しており、中には記事化につながったものもあります。これからも、楽しみに読んでいきたいと思います。

平専務理事は、本日出席いただいた参与の皆様、報告いただいた正副委員長及び担当理事の皆さんに謝意を述べた後、病院協会としても、医療の質の向上を図るため病院の垣根を超えて取組を推進していくとの設立趣旨を踏まえ、参与の皆様から厳しい指導と心温まる支援をいただきながら、今後も活動を続けていきたいと述べ、懇談会は終了した。

社会医療法人
原土井病院 院長

野村 秀幸

この度、令和元年10月1日付けで小柳左門前院長の後任として、社会医療法人原土井病院の院長に就任いたしました野村秀幸です。

私は昭和55年に九州大学医学部を卒業し、当時の九州大学医学部第一内科に入局しました。2年間の研修を終え、臨床ウイルス研究室（当時の研究主任は柏木征三郎先生でした）に所属し、「B型肝炎ウイルスの慢性化の機序の解明」を研究テーマとして九州大学では研究し、非常勤医師として原土井病院で勤務していました。その後、福岡市立こども病院・感染症センター、湯布院厚生年金病院を経て、平成元年に北九州市小倉北区の新小倉病院勤務となり30年間肝臓疾患を主に診療を行ってきました。丁度平成元年にC型肝炎ウイルスが同定され、平成4年にはインターフェロン治療が開始され、積極的にC型肝炎治療に取り組み、日本肝臓学会や日本消化器病学会の評議員、委員会役員などを兼任し、新薬のグローバル治験、国内・海外の学会での発表、厚生労働省の班会議の班員等を務め、2018年には北九州市で日本消化器病学会九州支部例会を会長として開催させて頂きました。今日ではC型肝炎治療は副作用の少ない飲み薬だけでほとんどの患者さん

新任挨拶



が完治する時代となってきました。学会の役員も定年を迎え、今後は高齢者医療への貢献を検討していましたところ、原寛理事長から原土井病院へのお誘いがあり、今年の4月1日より副院長として勤務させていただき、10月1日より病院長として就任させていただきました。原土井病院の顧問を務めておられる九州大学第一内科元教授の仁保喜之先生、九州大学総合診療科前教授の林純先生には大変お世話になっています。現在は福岡市中央区に居を構え、バスや自家用車で通勤しています。

原土井病院は高齢者医療対策に早くから取り組んできて実績もあります。地域の方々が病気になられたときには出来るだけ早く入院していただき、急性期治療後の回復に向けたリハビリテーション、復帰に向けた入院治療なども受け入れ、がん末期の緩和治療など高齢者の方々への医療の充実に向けて努めています。地域の方々また地域の開業医の先生方と共に地域住民の健康増進を推し進め、地域完結型のよりよい地域包括ケアシステムを目指して、高齢者医療をより発展させて行きたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



原土井病院全景

日本赤十字社における看護服装の歴史

福岡赤十字病院
看護師長

橋爪 朋子

日本赤十字社の救護員制服及び看護服装は、日本における看護服装の歴史といってもいいほど古い歴史を持っている。今回、日本赤十字社本社勤務中に、看護師の服装について調査する機会を得たので歴史をふまえて紹介する。

1911（明治44）年に刊行された「救護員生徒教育資料全」によると、最初の看護衣は「1886（明治19）年博愛社病院開設に際し、前垂れ様のものを作ってこれを和服の上に着用したのが始めとする」とあり、和服にエプロンを着用していたものが看護衣であった。「翌1885（明治20）年には看護作業上、袖の妨碍（妨害）を防ぐ必要を感じ工夫した。前垂式に改良を加えて筒袖様のものを案出した」とある。1891（明治25）年10月の濃尾大地震の災害救護の写真に、筒袖和服の上にエプロンを着用し活動している様子が写っている。1892（明治25）年5月30日に日本赤十字社病院前で撮影された第一回生・第二回生卒業証書授与式の写真は、赤十字の標章をつけた白衣・白帽の姿が残されている。生徒の制服は看護師の看護衣と同じものであるため、1892（明治25）年には、洋装の白衣を着用していたことがわかる。

その後、看護の実践にあわせて更に工夫改良し、日本赤十字社の規則として救護員制服が制定されたのは、1894（明治27）年である。救護員としての赤十字看護師の制服として制定されたのは、詰襟の長袖で、丈は足元に及ぶほど長い白衣であった。救護員制服は、日本赤十字社の救護員としての資格を備え、且つその資格を表明するために必要不可欠であったために制定したという記述がある。つまり、日本赤十字社の救護員としての赤十字看護師の制服は、広く赤十字の職員として活動するための身分を証

明するものであった。

明治の服制

日清戦争の戦時救護員として、日本赤十字社から看護師が初めて参加した。このとき定められたものは、「制帽」、「制服」、「外とう」、「靴」、「徽章」、「看護帽」、「看護衣等」である。徽章以外のものは、本社が明治23年から看護師養成を始めるにあたって、養成規則をイギリスのセント・トーマス看護師学校（フローレンス・ナイチンゲール女史設立）から取り入れた関係上、イギリス赤十字社女子救護員のものが多く取り入れられている。看護衣は裾が長く、肩山が高くしぼり襷の多い形状であった。「徽章」とは、「桐竹鳳凰中央赤十字にして桐竹鳳凰金色中央銀色に赤十字の附す直径一寸四分横径一寸二分とす」との記述が残っている。「桐花章」とは、救護員制服の左衿に用いるもので、台治金色で形は桐花であった。桐花形については、明治20年博愛社から日本赤十字社となったとき、初代社長の佐野常民が昭憲皇太后に何か日



1899（明治32）年9月制定の女子救護員制服（写真左）
1899（明治32）年11月改正の看護衣（写真右）

本赤十字社の徽章をいただきたいとお願いしたところ、かんざしのデザインをお示しになり、これに彫り付けてある模様の桐竹鳳凰がよかろうと仰せになり社章を決められたと言われ、この桐竹鳳凰のうちの桐の花をもって桐花章^{とうかしょう}とし、救護員制服の階級を区別するのに用いられてきた。

大正の服制

大正時代には、「制服」、「外とう」などが改変され、新たに「雨覆」が加わっている。中でも制服は、1894（明治27）年以来30年間親しまれたツーピース式のものから、ワンピース式のものに、外とうは、二重回し仕立てから簡易的なつくりへと、時代の変遷に伴い、救護活動に敏速に動作しやすいようにと工夫されている。鹿鳴館時代直後に出発した日本赤十字女子救護員の制服であったツーピース式のものはまた捨てがたいものがあり、当時この制服をまとい活躍した人々の強い郷愁に似た思い出話は尽きなかったとの記述が残っている。

試作品6種のうちから採用された新制服は、1924（大正13）年に日本赤十字社女救護員制服改正委員会で検討されたものである。横浜の婦人服専門洋服商の試作になるものであったといわれている。また、梨本宮妃殿下が、パリに外遊されたとき、彼地の服飾からヒントを得られたものという話もある。

濃紺の制服は、第二次世界大戦後に改正しようとしたところ、有名なデザイナーから「かなりっぱなデザインは、外国のどこへ出しても恥ずかしくないから改正の必要がない」といわれたエピソードがあり、現在もそのままの形状である。現在では式典などに着用されており、看護師としての世界最高の名誉であるナイチンゲール記章授与式などで着用している姿を目にされた医療従事者もいるのではないだろうか。

昭和の服制

この時代は、終戦を境にして前後に改変が行

われている。「看護略帽」、「看護衣」、「作業衣」、「作業袴」が改変された。看護帽は明治時代からの形である菊花形のものは、製作に時間がかかり、寒冷紗の入手も困難であったことから略帽となり、看護衣は肩山が低くなり長さも短く、軽快なものに変わっている。



1941（昭和16）年2月1日改正の看護衣

この改正により、夏季使用の制服ができ、「雨外とう」、「冬外とう」、「看護帽」、「看護衣上衣」、「看護衣スカート」、「ズボン」、「作業衣」が改変された。看護衣は、白キャラコ地とする。上衣の袖は長袖とし、袖口はワイシャツ式に白色ボタン1個でとめる。上衣前面に白色ボタン4個を一行につけ、両肩より4本のつまみ縫いを裾までつける。ポケットは左胸部に1個つける。襟は開襟衿とし、右衿に銀色の金属の桐花章をつける。下衣はズボンで、両裾に白色の締め紐いれて括るようにする。看護帽は、白キャラコ地で、布地の中心を左右各7cm、計14cmとし、両端より中心に三角形に後方で合わせるようにするものが用いられた。

近年、ICU、小児科等を中心とする看護業務の分野における労働環境の改善を目的として、数種類の看護衣を自由に選択着用する傾向が増えつつある状況から、医療施設等の現場においても実情に即した看護衣の改正が望まれていたことに応じて適時改正が行われてきた。厳しい病院経営の財政状況に大きな影響を与えることなく実施できるよう配意した結果、基本デザインは変更せず、襟型及び生地の色に三種類の選

択肢を設定し、新たな選択肢の組み合わせにより幅広い運用を可能にした。また、貸与及び給与の数についても、各施設が定めた基準により運用が図れることとした。また、予防衣は削除した。さらに、全国に92の病院を持つ赤十字病院として共同購入を試み、本社でモデルとなる白衣を作成したところである。

どの時代においても、看護師としての役割を果たせるように創意工夫がなされ、価値あるものとして取り扱われてきたことがわかる。このように、長い歴史を持つ日本赤十字社の制服を着用し、看護に従事することは私の誇りである。

〈参考文献〉

- 1) 日本赤十字社：救護員生徒教育資料 全. 304-305, 1911.
- 2) 日本赤十字社：救護員生徒教育資料 全. 295-296, 1911.
- 3) 日本赤十字社：平成29年度 日本赤十字社例規類集（事業編）日本赤十字社看護服装規程 昭和40年4月1日本達乙第4号. 773-779, 2018.
- 4) 日本赤十字社（明治村所有 日本赤十字社

豊田看護大学所蔵）：本社規則関係 明治27年同28年 救護員制服制定の件 救護員制服調製の議 議第31号 明治27年6月18日 日本赤十字社救護員服制届出の件 明治27年6月23日甲第251号. 冬季服装設定につき御届書 明治27年8月31日甲第359号. 明治27年.

- 5) 日本赤十字社衛生部看護課：日本赤十字社女子救護員 日本赤十字社看護職員 赤十字高等看護学院学生服装について, 年代不明.
- 6) 日本赤十字社：例規類纂 明治35年 日本赤十字社戦時救護員服制別冊の通り制定、其の筋認可、相成り候間此段及び御通牒候也 明治32年9月4日準甲第329号, 115-136, 明治35年.
- 7) 日本赤十字看護教育のあゆみ P66-67
- 8) 日本赤十字社：本達号 規則集 自明治37年至同43年 明治37年5月改正 日本赤十字社救護員服制.
- 9) 日本赤十字社：本達号 規則集 自明治37年至同43年 日本赤十字社例規類集 日本赤十字社救護員服制 明治43年6月27日本達甲第8号.

病院管理

当院における医師事務支援について

宗像水光会総合病院
医師事務支援室

新川 陽子

【はじめに】

医療の現場では、過酷な労働条件の中、医師の業務改善が急務とされています。

医師・看護師・コメディカル・事務職員の間で各職種に認められている業務範囲の中で、役

割分担を行い、良質な医療の提供のため、病院勤務医の負担軽減に対する体制を確保し、医師が専門性を必要とする業務に専念出来る環境を作ることが求められています。

そこで、国は医師の働き方改革推進の大きな柱として病院勤務医の負担軽減を図るため、医



師の事務作業を代行する医師事務作業補助者の配置を評価する医師事務作業補助体制加算を新設しました。(平成 20 年 4 月)

当院では平成 24 年 9 月より医師事務支援室を立ち上げ、当初は 6 名で始動し、現在では 25 名で業務を行っています。ちなみに当院では Medical Assistant 略して「MA」さんと先生方から呼ばれています。

【主な業務内容】

- ・ 外来診療の補助、予約等の状況把握
- ・ 診療録、オーダーリングの代行入力
- ・ 診断書などの文書作成の補助
- ・ 診療に関するデータ収集、整理
- ・ NCD 等のデータの登録、統計、調査

【医師事務作業補助導入時の取り組み】

- ・ 院内の職員に「医師事務作業補助者とは何か」を正しく認識してもらい、院内での役割を理解してもらう。
- ・ 自分達の勤務する医療機関にあった「院内規定」を整備する。
- ・ 状況に合った業務拡大と適切な人員配置を行う。
- ・ 医師の代行業務を担う事務職員であるため、モラルと個人情報保護を中心とした法令遵守を徹底する。
- ・ あくまでも医師の代行であるため、事務員であることの立場を前提に、医師の承認と署名を必須条件として運用する。
- ・ 限られたスタッフで勤務医の負担軽減の効果が高い業務を検討・選定する。
- ・ 医師事務作業補助者の導入による「医師の満足度向上、定着率」「患者の満足度向上」などと人的資源の投入量との費用対効果の評価が必要。

【現状と課題】

私たちの部署では、医師の事務的負担を軽減するために、午前・午後と時間帯で業務を大き



く分け、医師が一番手伝って欲しい業務について検討しました。医師からの希望は「午前中の外来診療を円滑に行えるようにしたい」「診断書等の文書作成補助をしてほしい」とのことでした。

診療補助に関しては外来患者の予約が多く、入院や手術予定等の手続きが多い診療科から配置を開始し、現在ではほぼすべての診療科に配置出来ています。主な業務内容として、検査オーダー等の入力・検査予約や同意書の準備・情報提供の作成準備を行っています。初めは医師への確認方法やタイミングが難しく、専門用語の理解にも苦労しましたが、何度も医師と話をすることでコミュニケーションも取れるようになり、信頼関係も生まれました。今では担当者一

人一人が、少しでも外来診療をスムーズに行なえるように看護師やコメディカルとの連携を取り日々業務を行っています。

午後からは診断書や症例データ入力等の作業を行っており、文書に関してはマニュアル通りの文面ではなく、患者一人一人の正確な情報を整理し、それぞれの医師の特徴や希望される内容で作成し、医師へ確認依頼を行っています。

患者が一日でも早く書類を受け取れるよう医師の予定も確認しながら、業務を進めることが、私たちのやり甲斐にもなって来ました。まだまだ力不足ではありますが、医師にとって無くてはならない存在になれるよう努力していきたいと思います。

病院管理

職員研修の取組みについて ～接遇福岡ナンバーワンを目指して～

宗像水光会総合病院
総務課

櫻井 美保

当院は、宗像医療圏において「地域と共に」を理念に掲げ、より良い町づくりに貢献したいと努力しています。

「水光会があるから福津・宗像に住みたい」といわれるような、安心・安全を提供できる病院、そしてより高い医療を提供できる病院を目指し、日々研鑽を重ねているところです。

当院の目標の一つに「福岡一接遇が良い病院になる」があります。この目標は口で言うほど容易に達成できるものではありません。

職員ひとりひとりが顧客（患者やステークホルダー）満足と人材（人財）育成に挑戦し続けなければならないのです。

水光会が大切にしている「患者の立場になっ

て考えるおもてなしの心」を追求するため、その達成のため年度目標の中にも「教育・研修の充実」を大きな柱として掲げています。具体的な取り組みとしてマネジメント研修、接遇研修、水光会学会、HQM活動などがプログラムされており、外部専門講師による教育も導入されています。（2019年度で3年目になりました）今回はその研修内容の一部をご紹介します。

1. マネジメント研修について

社会人に必要なスキルは「テクニカルスキル」（専門的能力）、「ヒューマンスキル」（対人

関係能力)「コンセプチュアルスキル」(概念化能力)の3つだといわれています。

テクニカルスキルは、OJT 研修などで身に付けることが可能ですが、ヒューマンスキルとコンセプチュアルスキルは、獲得(向上)が難しいスキルだといわれ、特に医療業界においては、高度なテクニカルスキルを持っているものの残念ながらヒューマンスキルが欠如している業界だといわれています。

当院が今後10年、20年も生き残っていける「強い病院組織」となるためには「ヒューマンスキル」の向上が欠かせません。

そういった背景を踏まえ取り組みを開始したのが「ヒューマンスキル」研修です。初年度に実施した部門長研修の内容を少しご紹介すると、対象は診療支援部門、看護部門、事務部門、介護事業所から約40名の部署長クラス(室長、看護師長、課長、主任)。また、研修に集中できる環境を作るため病院から離れた公共施設の研修室で実施するなどのちょっとした工夫もしました。

実際の研修ではたえず価値観、環境の変化を理解していかなければ強い組織として生き残ることは難しくなること、人間性が重要だと言うこと、伝えることは難しいこと等を講義やグループワーク形式で学びました。

それ以外にも部下と良好な関係を築くための「コミュニケーションスキル」、「ティーチングスキル」、「コーチングスキル」など多くのシチュエーションを想定しながら学習しました。

今年度研修の総括では「目標設定・管理／モチベーション・マネジメント」を研修し、ゼロベース思考、ロジックツリー、仮説思考、論理思考、MECEといった問題解決型思考(ロジカルシンキング)で考え行動することも学習しました。

今回、管理職から開始したこのような研修を中堅職員に広げると共に、一般職員にもヒューマンスキル研修の一部を研修するなどして全職員の底上げを図っています。また最近話題の

「アンガーマネージメント研修」を採り入れました。アンガーマネージメントとは、自分のアンガー(イライラや怒りの感情)を理解して癒したりポジティブな方向へ展開するなど、上手にコントロールするための手法です。1日だけの実施ではありましたが大変盛り上がり楽しい研修となりました。

2.【接遇研修】について

接遇といえば、美人マナー講師の平林都さんが有名ですが……

彼女はご自身の社会人経験から独自の「マナー講習」「接遇」を編み出し、経営者兼講師としてエレガントマナースクールを開業されました。このマナースクールが評判になり、病院・銀行・自動車販売店など数多くの研修を担当された結果、多くの企業が経営不振から脱却したとことでマスコミでも話題になりました。

水光会では、当グループの職員及び委託業者に対する接遇教育の充実を図り、患者サービス、医療の質向上に寄与することを目的に接遇向上委員会が設置され、病棟や全体部署でのOJT研修、パトロール隊の強化研修を行っています。

接遇とは、ひとことでいうと「おもてなしの心」です。当院は、医療の基本ともいえるべきことをまず行うことによって医療レベルそのものが上がるという考えをもっています。「接遇」を良くするというのとは単に挨拶をすとか愛想良くするというのではなく「相手の気持ち、立場になって考え行動する」ということです。患者さんの立場になって考える、職員に対しても自身の周りの人間だけでなく他部署の職種の職員に尊敬の念を持ち業務にあたることです。

当院では接遇パトロールを月1回行っています。パトロールインストラクター研修^{*}を終了した接遇委員が、院内各所を巡視し職員の患者さんに対する態度やマナーはどうなのか、きちんとした身だしなみは出来ているのかなど

チェックしています。各目標に対しての達成状況をパトロールレポート（記録表）につけ結果を部署長にフィードバックしています。また全職員に共有するため、院内イントラネットにて公表しています。

※ パトロールインストラクター研修とは、接遇委員が独立して指導評価できるよう外部講師が教育するシステム

接遇は身だしなみからともいいますが、身だしなみチェックについても力を入れています。「接遇・身だしなみ規程集」を2017年9月に制定し、医療人として感染・安全対策に基づいた清潔感のある身だしなみを基本とし毎朝朝礼時の個人チェックと年2回の接遇委員によるチェックを行っています。

身だしなみチェックポイントは、ヘアスタイル、メイク、ひげ、アクセサリ、香水・香料、爪、ユニフォーム、名札、靴、靴下・ストッキング・タイツです。

ヘアスタイルについては「ヘアカラー協会レベルスケール7まで」「男性は目と耳にかからないこと」「女性は肩にかかる長さはひとつにまとめるか結ぶ、長い髪はお団子にまとめ前髪は目や頬にかからないようピンで留める」とルールが決まっています。ヘアアクセサリについても色や形状まで細かく定められています。

接遇マナーを意識づけるため強化期間を設けています。3ヶ月ごとにテーマを決めて取り組んでいます。接遇向上委員がシーズンごとにポスターを作成し院内に掲示し全職員に周知しています。

春はあいさつ運動、夏は笑顔運動、秋は身だしなみ、冬は整理整頓といった具合です。

《最後に》

日々の忙しい業務に追われ、なかなか自分を振り返る機会がなかったのではないかと思います。研修を受講された職員は、組織のなかでの自分の役割を再認識出来たことや、普段関わりのない部署や他職種の方との交流が出来たことで団結力を深め一体感が生まれたのではないのでしょうか。個々のスキルアップとヒューマンスキルの重要性を理解し業務に取り組むことが出来るようになった職員が増えたことは当該研修の効果といえるでしょう。

しかし一方で、院内で実施したアンケートによると、挨拶をしても無視されるや、指導の言い方がきついといった嫌がらせやいじめを受けたと感じた職員も多数いたようです。どうしてこんなことになってしまうのでしょうか。

時間をかけ学んだはずのスキルが業務で活かされてないということです。

忙しいから、手が離せないから、は理由になりません。実践しなければ意味がありません。まだまだ取り組みは始まったばかりです。

これまでのヒューマンスキル研修で学んだことの趣旨や、福岡一接遇の優れた病院になることを目指す意義を再確認し、職員の質向上を図り、最終的にはそのような文化風土を醸成出来ればと考えています。病院全体の質向上のキーワードは「教育・研修」です、今後も事務局として様々な職員研修を企画していく予定です。



心房細動治療の 最新事情

臨床

福岡赤十字病院
循環器内科部長・集中治療部部長

向井 靖

1 はじめに

近年、不整脈診療、特に心房細動の治療の進歩が著しく、カテーテルアブレーションなどの治療件数が増加しています。福岡赤十字病院・循環器内科では、心房細動のカテーテルアブレーションを日々積極的に手がけ、お困りになる患者様のニーズにお応えしたいと考えております。責任術者である向井はこれまでに3000例以上のアブレーション施術経験があり、当院での治療をご希望されてお見えになる方が著しく増加しています。

2 心房細動の治療目標とカテーテルアブレーションの位置づけ

心房細動の治療目標と手段

- ・ 自覚症状を改善する
- ・ 心不全を防ぐ
- ・ 脳梗塞を防ぐ

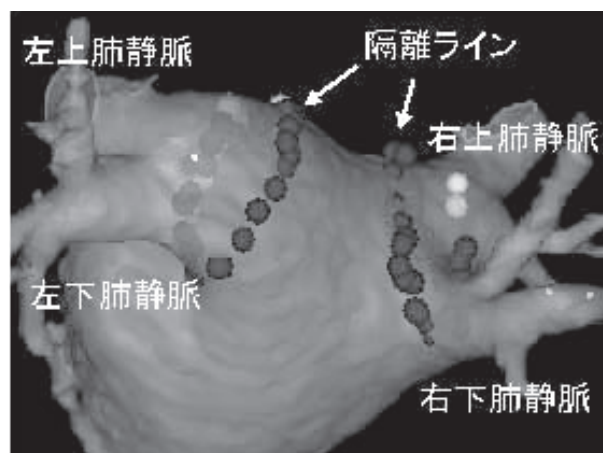
お薬による治療
カテーテルアブレーション

心房細動の治療目標は図に示すように3つに大別できます。治療選択は年齢や疾患背景、発作の頻度や症状の強さ等によって患者様ごとに個別の判断が重要になります。心房細動では心房全体が渦巻き様の興奮伝播に支配されているため固定した不整脈回路がある訳ではなく、根本的な対処は困難とされてきました。ところが、左心房に還流する4本の肺静脈の合流点が特に異常な興奮伝播（渦巻き）を来しやすく、心房細動の発生と維持に関与することが明らかとなりました。病態の理解が治療に反映され、近年では肺静脈隔離術と呼ばれるカテーテルアブレーションの手法が普及し、多くの患者様の福音になっています。

図のように、左心房と肺静脈の位置関係を3次元マッピングシステムにより詳細に把握し、カテーテル操作はミリ単位の精度で行います。近年はテクノロジーの進歩と技術向上が著しく、もはや特殊な治療ではなくごく日常的な診療内容になっています。

3次元マッピング上の治療完成図

(左房後面図)



3 当科のカテーテルアブレーションアブレーションの特徴

当科の肺静脈隔離術は無駄な手順をできるだけ省き、シンプルで安全かつ有効な治療法を確立しています。体内に挿入するシースやカテーテルはより少なくし、患者様の負担が小さくしているのが特徴です。全国的に見ても手技時間も短く、発作性心房細動であれば1時間程度で済むことも多いです。一方で、心房細動の病態は一様ではなく、肺静脈隔離術のみで制御できない難治症例も少なくありません。当科では非肺静脈起源に対する個別化治療に豊富な技術経験があり、難治例や再発例においてはテーラードアプローチをしっかりと行うことで治療効果を上げています。

おわりに

心房細動は心不全の増悪因子としても有名で、循環器領域における大きな課題でした。カテーテルアブレーションが心不全合併の心房細動において予後を改善するとのエビデンスも出てきてお

り、より重症で厳しい症例がアブレーションに回ってくるようになりました。症状のみならず生命・機能的予後を改善しうるカテーテルアブレーションの役割はますます重要になってくると考えています。



福岡赤十字病院・循環器内科チーム、左3番目が筆者

「安心・安全・清潔」 未来を見つめて...

 太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社

〒812-0044 福岡市博多区千代1-1-5 TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社

〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200 TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 中島 健介

事業内容：医療介護福祉の総合提案企業



- 医療機関等への寝具・病衣・白衣等のリース及び洗濯
- メンテナンス付マットレスのリース・レンタル
- 衣類(私物)の洗濯
- 紙オムツの販売及び大人用布おむつのリース及び洗濯
- タオル・オシボリのリース及び販売
- 産業廃棄物の収集運搬
- 病院用ベッド及び医療家具のリース及び販売
- テレビ・ランドリーのリース及び販売

太陽セランドグループ会社

太陽シルバースサービス株式会社
ジャパンエアマット株式会社
株式会社北九州シーアイシー研究所
株式会社メディカルナビケーション
株式会社セランド
株式会社おたふく屋
株式会社サンウエックス

〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田585-1
TEL:092-641-5085 FAX:0946-21-4701
〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-1-5
TEL:092-641-2578 FAX:092-641-5778
〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-1-5
TEL:092-651-0700 FAX:092-641-2672
〒802-0979 福岡県北九州市小倉南区徳力新町1-25-22
TEL:093-961-0581 FAX:093-961-0009
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200
TEL:0947-42-3215 FAX:0947-42-3217
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200
TEL:0947-46-1508 FAX:0947-42-5445

TEL:0946-21-4700 FAX:0946-21-4701
TEL:092-641-5085 FAX:0946-21-4701
TEL:0947-46-2029 FAX:0947-46-2101
TEL:092-651-0700 FAX:092-641-2672
TEL:093-961-0581 FAX:093-961-0009
TEL:0947-42-3215 FAX:0947-42-3217
TEL:0947-46-1508 FAX:0947-42-5445



人生100年時代の 看護職の働き方について

福岡国際医療福祉学院 副院長
国際医療福祉大学九州地区生涯教育センター 顧問

神坂 登世子

令和元年4月に働き方改革関連法案が実施され、看護職は有給休暇5日間、時間外勤務360時間/年がスタートしました。守らないと一人当たり30万円の罰金です。現場では就業前の勤務時間を削減する、業務改善を行うなど努力している姿が見受けられます。医師も5年後960時間～1860時間と働きすぎ改革が始まることになっています。

この機会に本来は、それほど勤勉でもなく遊ぶことも好きだった私が、なぜ今になるまで楽しく自由に働いているのか、そもそも仕事は、何のためにするのか、振り返りたいと思います。

臨床看護師としては、虎の門病院を皮切りに、浜の町病院では管理者として認めていただき、看護部長・副院長まで務めさせていただきました。また役職者はもとより、会員の皆様の協力のもと、福岡県看護協会会長として4年間は病院勤務と兼務しながらでしたが、6年間充実した仕事をさせていただきました。

その後、久常節子元日本看護協会長の推薦により国際医療福祉大学・大学院教授就任後、九州地区生涯教育センター副センター長、同顧問、福岡国際医療福祉学院副院長と働くステージは変わっても、未だに多くの人々に支えられながら、現在に至っております。

定年まで勤務、後は自分がやってみたいと思っていた分野を中心に自由な気持ちで仕事に臨めることに喜びを感じています。勿論そのためには、後悔しないように常に自分ができるベストを尽くしてないとだめだと思います。

私は看護協会長職の前に福岡県看護協会の認定看護管理者運営委員を委員長含め10年間務

めました。私と現福岡県連盟会長の塚崎さんは福岡県の最初のJNA認定看護管理者です。

当時の教育運営委員会では会員数200人に対して1人の受講者というような規則があったので、まずは、東京や神戸に行かなくても、福岡で受講できるようにしたいと望んでいました。その後福岡県看護協会会長として認定看護管理者教育課程サードレベルを開講することができたのは喜びでした。

私自身は、自らの意思で研修（東京清瀬）にいきましたが、共済学会開催担当病院であったにもかかわらず推薦していただいた当時の加藤看護部長には感謝しています。

これらの研修や臨床看護師としての経験、管理者としての仕事、看護協会会長としての事業や活動を通して、私は病院や施設内で人・もの・金・情報などの資源を管理し、看護の質を保証し、向上させる看護管理者の役割の重要性を痛感するとともに看護管理者教育への関心が徐々に高まっていったように思います。

未だに看護職は労働集約型ですので、看護師の質は看護を提供する看護師の質、看護師の質は教育の質、教育の質は教員の質、組織の質は管理者の質などと言いながら、管理者教育はやりがいがあります。県内の中小病院の割合が60%と高い状況の中、希望すれば受講できる選択肢があることは、患者さん、地域住民にとってもラッキーだと考えます。受講生の皆さんは熱心で、真摯に看護に取り組んでおられる方が多く、磨けば光り輝く珠ばかりです。きっと患者さんに配慮あるケアを提供し、スタッフには職場組織を改善し働きやすくしてくれると信じ

ています。

また医療安全と同様に医療の最低限の質保証である感染管理の認定看護師教育課程も現在全国から受講生 30 名 7 期生が学んでいます。

私が、受講生の皆様に申し上げていることの幾つかをあげてみますと、まず CN だけで定年までは働けないよ。スペシャリストの中でも自分の強みを持つことと、管理などにもチャンスがあったらチャレンジしたらということです。管理者は必要に駆られて勉強するのですが、福岡は看護大学が 14 あり大学院もあるので、もっと追究したければ学ぶ場にも恵まれていることを伝えています。とにかく組織に学びを還元すること、自分に付加価値を付けることを現場の管理者とともに伝え続けていきたいと思っています。

次に受講者には、自分の組織のよさや自分の強みに気づいて頂きたいということ、それから一番の宝は共に学んだネットワークだということを伝えています。

管理者には学んだことを活用できる人材管理を望みます。教育機関がそのつなぎ役になれば幸いです。受講者、管理者、教育機関、この三位一体うまく繋がらなければ学習効果は期待できません。

特に組織の 3 要素である理念に沿った共通目標の達成、多職種の積極的な協働、風通しのいいコミュニケーションで地域における組織の存在価値を高めてもらうことを強調しています。

2018 年に日本看護管理学会で発表したコン

ピテンシーの研究では、概念化能力と分析的思考がファーストレベル・セカンドレベル受講者達の強めたい能力になっているので、できましたら日頃から SWOT や BSC などの分析や課題実施後のレポートなどでトレーニングさせて頂きたいと思います。

「人生 100 年時代」、定年後働くもよし、優雅に過ごすもよし働くからには部下にとって元上司は使いにくいので、自分に何か強みをつけて独自に動ける部署を獲得するために準備しておくのもよいのではないかと思います。最近は訪問看護ステーション等、起業する方も増えています。

最後に、私の経験から言えば、現役中は多忙ですが、仕事のみでなく何か気分転換できるものがあつた方が良くと思います。私も華道は看板を頂くまで続けました。

3 日坊主で終わったものもありましたが、日常とは違った時間を過ごすことで、気持ちの切り替えがスムーズにできたようにも思います。

サードレベル教育課程まで県内で学べるように総会で会員の皆さんの同意を得て開講した教育が、看護の質の向上に少しでも役に立ち「福岡県民の健康の実現に貢献する」という看護協会の理念に沿うことができていましたら嬉しく思います。

まずは「人生 100 年時代」に耐えうる心と体を鍛えておかないとでした。



時事管見 ～大いにあり得る

国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元 則
学校法人原学園看護専門学校 名誉校長

令和元年初冬のキーワードは

先月の Letter で令和元年秋のキーワードは「信じられない」という言葉が最適ではないかと述べた。Letter 校了後の 10 月 31 日に発生した首里城の火災もこの言葉を象徴するような出来事であった。華麗を誇っていた沖縄のシンボルともいえるべき建造物が、紅蓮の炎をあげて焼け落ちる姿を目の当たりにされた那覇市の皆様にとっては、まさに「信じられない」思いであったことであろう。心からお見舞い申し上げます。

さて今月の Letter は先月のテーマ「信じられない」とは全くの対極にある「たとえ当事者がどんなに否定しても、常識的には大いにあり得る…」にスポットを当てて論じてみたい。本稿執筆中の 11 月末、新聞紙上を賑わしている安倍総理の観桜会問題、トランプ大統領のウクライナ疑惑、NHK の看板番組日曜夜の大河ドラマを揺るがす芸能界の麻薬汚染問題、いずれも「大いにあり得る」と私は思っているからである。

桜を見る会

11 月 8 日参院予算委員会の席上で共産党の田村智子参議院議員が追求し、新聞、テレビがこれに追随したため政局を揺るがす大問題に浮上したのが「桜を見る会」の問題である。この催しは 1952（昭和 27）年、吉田茂首相が総理大臣主催の会として始めたのが最初とされ、その後時の首相が毎春主催する会として今日まで続いている（勿論いろいろな理由で中止された年もある）とのことである。

「首相が各界の功労者を招いて、一緒に桜花を愛でることに何か問題があるのですか？」と問われれば、「何も問題はない」と答えざるを得ないと思うのであるが、第二次安倍政権になって招待者の数が約 2 倍に膨れ上がり、安倍首相の後援者

達（地元の後援会の人達だけでなく、昭恵夫人のお友達の方々まで）が多数招待されるようになったのが公私混同で問題だというのである。2015 年には、悪質なマルチ商法で有名になったジャパンライフの山口隆祥元会長が首相官邸で出席していた事実も報道されている。

「桜を見る会」が公費（税金）で運営されている以上、あまりに度を過ぎた身内への大盤振る舞いはたしかに問題であろう。しかし「議員が選挙区の人達に配慮するのは当然のこと」であるから、観桜会を主催した時の首相が、これに便乗して後援会の人達を招待することは「大いにあり得た」と考えるのが常識であろう。この催しは広大な新宿御苑を借り切って、1 万人近い人達が集まる会なのであるから（第二次安倍政権以降はこの数が倍増し、今春は 18,000 人を越えたということである）そこに 2～300 人程度の代議士の後援会関係者が紛れ込んでいても何ら問題ではなかった筈である。野党議員のコネで招待された経験をお持ちの方もたくさんおられることであろう。

かく言う私も 2017 年 4 月にこの会に招待されたことがある。私の場合は平成 28 年秋の叙勲対象者ということでの招待であったが、一生に一度のことなので家内と二人で出掛けていった。勿論、交通費その他すべて自弁である。

民族衣装や軍服を着用した大使館関係者と一目で判る人達や、私達のような高齢者夫婦など多彩な顔触れの参加者であったが、面識のある医療関係者には一人も出会わなかった。その中で少しだけ違和感とともに目を引いたのが、「昭恵さ～ん」と呼んで首相夫妻に駆け寄る 10 数人の中年のオバサン達であったこともよく記憶している。

新聞で報じられているような御馳走にはありつけなかったし、新宿御苑の桜もそれ程美しいとは思わなかった。前日の夜、東京在住の長男一家を宿泊していたホテルに招いて前夜祭？を開催した

のであるが、ホテル庭園の夜桜の方が数段美しかった。

安倍首相の公私混同、長期政権の慢心を戒めることは大事である。しかし世界が激動する今日、国際的な課題を顧みずに「桜を見る会」だけが最大の焦点になる桜色一色の国会の在り方もいかなものであろうかと私は思っている。

公職選挙法違反

9月11日に行われた第4次安倍内閣の改造人事で初めて入閣した菅原一秀経済産業大臣と河井克行法務大臣が就任1ヶ月余りで辞任に追い込まれた。二人とも公職選挙法違反の疑いがマスメディアに広く報道されたためである。この二人の前大臣の公職選挙法違反が、法律にあるいは政治的にどのように展開していくのか未だ不透明であるが、選挙区の有力者の葬儀に秘書が香典を持参したり、選挙運動で頑張ったウグイス嬢に規定より多めの報酬を支払うというようなことは「大いにあり得る」ことではないかと思っている。

もしも公職選挙法違反ということになると大問題なのが、今年の4月12日、安倍総理大臣後援会がホテルニューオータニで開催した「桜を見る会」の前夜祭に関する問題であろう。立食パーティに850人が参加し、会費は5000円であったということである。ホテル側が一人当たりの価格設定を5,000円としていて、その金額と一致する5,000円の会費が支払われていれば寄付行為に当たらないのであるが、ホテルニューオータニにおけるパーティはたとえ立食であっても一人5,000円では賄えないというのが野党の主張である。この問題はどのように展開していくのであろう？ ホテル名義の領収証が各個人に渡されたという安倍首相の当初の国会答弁も物議を醸している。

私は10月19日、九大医学部三八会の幹事を務めたのであるが、参加者には三八会事務局名義の15,000円の領収証（正餐形式のパーティなので5,000円という訳にはいかない）を発行し、ホテルには当日集めた会費の他に、事務局経費から不足分を加えて支払った。パーティを主催する時には常識的にどこでも行っている手法ではないだろうか。この方法は、「政治の世界では大いにあ

り得る方法ではない」のであろうか？

見てみてガッカリ

本年11月14日から16日まで高知市で第81回日本臨床外科学会が開催された。私は四国4県の中で、高知だけは一度も訪れたことがなかったので、学会が開催される前日から高知へ出掛け、妻と観光を楽しんだ。有名な桂浜の龍馬像、国宝に指定されている高知城は流石に見ごたえがあった。さらに学会初日の夕刻に開催された評議員懇親会で提供された美味しい鰹のたたきと高知の美酒も私の期待どおりであった。どう考えても5,000円の会費では賄えないような豪華な料理であったが、不足分を誰が何の経費で支払ったのか私は知らない。

ただひとつ実際に見てみてガッカリだったのが、はりまや橋である。ペギー葉山が大ヒットさせたよさこい節で一躍有名になり（1951年のことだから古い話であるが…）、高知を代表する観光名所と勝手に思い込んでいただけに何の変哲もない橋の佇まいにガッカリした。案内してくれたタクシーの運転手さんが、「なにしろ札幌の時計台、長崎のオランダ坂と並んで、日本の三大ガッカリと言われている観光名所ですからね…」と語っていたのが印象的であった。

出掛ける前に観光ガイドブックなどを読んで勝手に想像を膨らませていると、実際に見てみてガッカリするのは「大いにあり得る」話である。私の小さな経験で言わせていただくならば、その第一はコペンハーゲンの人魚像、第二がシンガポールのマーライオン像（訪れたのがもうずいぶん昔のことであるから、その時は水を吐かない小さなライオン像であった）であろうか…。

令和元年の最後となるLetterは、なんとも格調の低いLetterになってしまった。しかしこのLetterを読んでガッカリされた方がいらっしゃれば、それだけ期待されていたという意味にもなるので私にとっては大変嬉しいことであるとも言えよう。

来る2020年、ガッカリではない素晴らしいオリンピックが開催されることを、そして読者諸賢の益々の御健勝と御発展を祈念している。

●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

令和元年 11 月福岡県私設病院協会の動き

◎ 研修会

日 時 11月9日(土) 午後3時
場 所 電気ビル共創館 3階
カンファレンス A
演 題 『ICT を活用し「治し支える医療」
への転換を本格化』
講 師 (公社)全日本病院協会 副会長
(社会医) 祐愛会 理事長
織田 正道 氏
参加者 35施設 85名

◎ 広報委員会 (臨時)

日 時 11月12日(火) 午後3時45分
場 所 協会事務室
議 題
1. 福私病ニュース令和2年新年号
新年ご挨拶の原稿依頼について
2. 福私病ニュース労務コラム掲載について

◎ 理事会

日 時 11月12日(火) 午後4時
場 所 協会会議室
議 題
1. 会長あいさつ
2. 協議事項
(1) 会員異動について
(2) 非会員の加入促進について
(3) 研修会について
(4) 地域医療構想について
(5) 名義共催および後援について
・令和元年度病院研修会
(福岡県病院協会 1/23)

・令和2年度診療報酬改定説明会
(日本病院会 3/17)

3. 会議等報告

・福岡県医療勤務環境改善センター運
営協議会報告及び労務管理に係る対
応周知について (10/29)

4. その他連絡事項

(1) 福私病ニュース新年号の原稿依頼に
ついて

(2) その他

5. 報告事項

(1) 私設病院協会

(2) 看護学校

(3) 医療関連協業組合

(4) 全日病、日慢協、日医法人協 他連絡

◎ 事務長会運営委員会

日 時 11月21日(木) 午後4時
場 所 協会会議室
議 題

1. 協議事項

(1) 外国人雇用と処遇改善加算について

(2) 医師の労務管理アンケート結果対応
について

(3) 情報交換について

(4) その他

2. 報告事項

(1) 前回議事録について

(2) 私設病院協会研修会について

(3) 私設病院協会9月～10月の動き

お酒とわたし

元 医療法人誠十字病院 安田 宏一
平衡神経科 医師

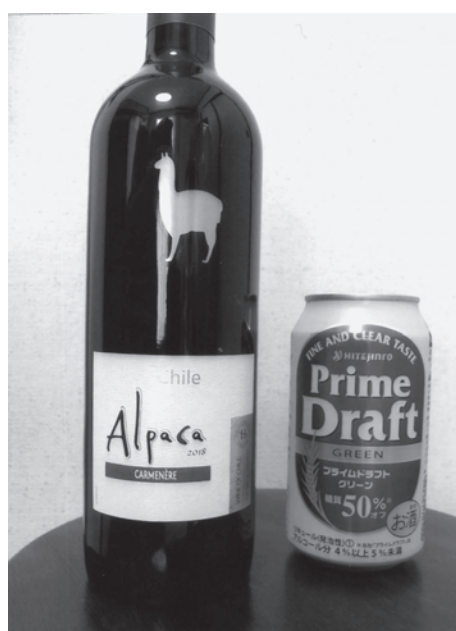
わたしが酒を飲みだしたのは、正月の「とそ」を別にすれば、大学生の21歳のころだと思う。そのころは、酒は付き合い程度であった。晩酌しだしたのは、1962年結婚してからである。結婚に際して、わたしにはひとつの計画があった。それは家内を、飲み友達にすることである。中洲の値段の高さ、ホステスの話題のなさに、うんざりしていた。

家内の父は鹿児島、母は宮崎出身である。酒飲みの素質は十分にある。しかし家内は、女子大の寮に入っていた。しかも卒業したのである。まったく酒の訓練がされていない。ここはわたしが育ててやろうと、意気込んだ。まず新婚旅行の「あさかぜ」に、ワインのミニチュアボトルとグラスを持ち込んだ。これは合格した。ついで、ホテルの食事では、ビールをたのんだ。これも、らくらくクリアー

した。このコーチと選手の成果で、よい飲み友達になっている。

わたしは、夕食にはビールをのむ。その銘柄を決めるまでに、ずいぶん年月を要した。キリン一番搾りも、アサヒスーパードライも、満足しなかった。しかし近くのスーパーで、偶然出会ったビールが、気に入った。Prime Draft Green という韓国のビールであった。会社名は小さく Hitejinro とあった。おなじ会社の、Standard という青い色の缶のものがあるが、わたしは Green が好きである。

夕食の後かたづけが済むと、ワインの出番となる。ワインの定番を決めるには、ビール以上に苦勞した。ためしに買ってきたワインの、ラベルをスクラップブックに貼り、感想を記入する。その数、スクラップブック 82



左：チリワイン（Alpaca Carmenère）
右：韓国ビール（Prime Draft Green）

冊、ワインの数はわからない。1冊80ページなので、 $80 \times 82 = 6,560$ くらいになるだろう。そうして、これだと決めたのが、ビールと同じスーパーで買ったチリ・ワインである。Alpaca Carmenere（赤）、Carmenereは葡萄の種類で、チリの地物らしい。紫色のキャップである。白はおなじアルパカのChardonnay / Semillonである。これらをハウスワインと決めたのが、2016年と記録にあるので、3年になる。

ビール、ワインの次は、日本酒である。黄桜・辛口一献。甘い日本酒がにがてなので、これは比較的あっさりきまった。寒い日に、燗酒で飲むのがよい。冷やで飲むと、白ワインに比べて、こくが足りない。

さて寝酒に蒸留酒である。わたしは、ウイスキー、焼酎より、ブランデーが良い。手輕

なところで、Hennessyのポケット瓶をそなえている。一時はクールボワジェにこった。しかしなかなか手に入らない。店で見かけないのである。ハワイに行ったとき、町はずれの酒屋でこれを見つけた。買おうとしたら、店の主人が「no taxではありませんよ」と注意してくれた。OKと言って買ってきた。クールボワジェの、緑のすりガラスのようなビンが、じつに上品である。

それでも、ずっと酒を飲みつづけた訳ではない。何度か、とぎらせたことがある。大腸がんの手術のとき、痛風の発作のとき、化膿性脊椎炎のとき。これらのときに、悟ったことがある。ひとつは、体調がわるいと、酒を飲みたいと思わない。ふたつめは、自分はアルコール中ではない。ありがたいことである。

医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房機器等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F
TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F
TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632

人体旅行記 臍（その三）

国立病院機構 都城医療センター 吉住 秀之
副院長

ふつうは窪地になっている臍ですが、時と場合によって盛り上がる場合があります。生まれつきの出臍の話ではなく、臍の腫瘍のことです。胃癌の臍転移例として1864年に報告されたのが臍腫瘍の最初¹⁾ですが、この所見が医学的に患者の予後と関連していると洞察したのは実は医師ではなく、アイルランドからアメリカにきたジュリア・デンプシイ（1856～1939）という看護師でした。洗礼を受けてシスター・メアリー・ジョセフとなった彼女は、その後メイヨークリニックの看護婦長となり、臍腫瘍を合併する胃癌患者の術後成績が不良で早期に死亡することを指摘します²⁾。手術の第一助手であった彼女³⁾の示唆を受けて、ウィリアム・ジェイムズ・メイヨー⁴⁾は、臍腫瘍を pants button umbilicus と呼び、1928年にメイヨークリニックのスタッフミーティングでウイリヒョウ転移、シュニッツラー転移、肝転移とともに治癒不能進行がんの所見として述べました⁵⁾。その後1949年にハミルトン・ベイリー卿（1894～1961）は、彼が著した『臨床外科の身体所見供覧』という教科書の中で転移性臍腫瘍を彼女の名にちなんで、Sister Joseph's nodule と命名したのでした²⁾。当時彼女は自分の名前から「メアリー」を除いていたので、「シスター・ジョセフ小結節」というのが正しい名称ですが、「シスター・メアリー・ジョセフ小結節」と記されることも多いようです⁶⁾。彼女はその後1906年にセント・メアリー病院付属看護学校を開設し、1915年のアメリ

カ・カナダカトリック病院協会の組織を支援し、その初代副会長に選出されています。

- 1) Shetty MR (1990) Metastatic tumors of the umbilicus : A review 1830 -1989. J Surg Oncol 45:212-215
- 2) Bailey H (1949) Demonstrations of physical sign in clinical surgery. 11th ed. The Williams and Wilkins, Baltimore, p227. 医療業界で冠名用語に医師以外の名前が使われているのはたいへん稀なことです。
- 3) 1896年にセント・メアリーズ病院がメイヨークリニックと改称して4年後の1890年から1915年まで第一外科助手を務めており、彼女が見せた周術期の外科的判断能力の高さを彼は賞賛しています。彼女のように鋭い洞察力をもつ看護師は本当に貴重ですね。
- 4) 1889年にセント・メアリーズ病院を開設したウィリアム・メイヨーの長男です。
- 5) Mayo WJ (1928) Metastasis in cancer. Mayo Clin Proc 3:327. 彼女のおかげで予後不良の原因が転移のせいであり、手術手技の巧拙によるものではなかったことが分かって、メイヨー医師は大いに安堵したのではないかと思います。
- 6) こういう差異を気にする人はいつもいて、そのことをレターとして著明な医学誌に寄稿している人もいます。Schwartz IS. Sister (Mary?) Joseph's nodule. N Engl J Med (1987) 316: 1348.

理 事 会

◎ 第70回理事会 報告

日 時 令和元年12月3日（火）16：00～16：52

場 所 オリエンタルホテル福岡

博多ステーション4F SAKURA（桜）

（福岡市博多区博多駅中央街423）

出席者（敬称略）

副会長 一宮、八木

理 事 平専務理事、岩永総務理事、澄井財務
理事、壁村企画理事、伊東、江頭、
於保、桑野、小嶋、津留、平城、深堀、
増本、松浦、森田

計 17 名（理事総数 24 名）

議 長 岡嶋

副議長 梅野

顧 問 今泉、河野、上野

I 行政等からの通知文書

平専務理事が、以下の文書について説明しました。

- ・「病院に勤務する医師の労務管理に関するアンケート調査への対応に係る周知について」（県保健医療介護部長発）

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 第1回医療事務委員会

小嶋担当理事から、報告がありました。

日 時 令和元年10月31日（木）

16：00～

場 所 TKP 博多駅筑紫口ビジネスセン
ター 905

協議事項

- 1 委員の交代について
- 2 委員長の選任について
- 3 第119回医療事務研究会の開催について

イ 第1回臨床検査委員会

壁村担当理事から、報告がありました。

日 時 令和元年11月5日（火）16:00～

場 所 J R 博多シティ 10F 小会議室H

協議事項

- 1 委員の交代について
- 2 第3回臨床検査研修会の反省
- 3 第4回臨床検査研修会の開催について

ウ 第1回経営管理委員会

津留担当理事から、報告がありました。

日 時 令和元年11月26日（火）

15：00～

場 所 TKP 博多駅筑紫口ビジネスセン
ター 903

協議事項

- 1 委員の交代について
- 2 令和元年度第1回経営管理研究会報告
- 3 令和元年度第2回経営管理研究会の開催について

エ 第2回リハビリテーション委員会

岩永担当理事から、報告がありました。

日 時 令和元年11月28日（木）

15：00～

場 所 福岡県医師会館 6F 研修室5

協議事項

- 1 令和元年度第1回リハビリテーション研修会について
- 2 令和元年度第2回リハビリテーション研修会の開催について

【開催予定】

ア 第159回看護研修会

於保担当理事から、報告がありました。

日 時 令和元年12月22日（日）

9：20～15：30

場 所 ナースプラザ福岡

テーマ 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修

内 容

- 1 看護補助者の活用に関する制度の理解
- 2 看護職員の連携と業務整理
- 3 看護補助者の雇用形態と処遇等
- 4 看護補助者の育成・研修・能力評価
- 5 看護補助者体制整備に関する課題に
対する対策案の作成（演習）
湘南医療大学 保健医療学部
看護学科長 川本 利恵子

イ 病院研修会

桑野担当理事から、報告がありました。

日 時 令和2年1月23日（木）

18:00～20:20

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ 医師の働き方改革

～働き方改革は勤務医の在り方を
どう変えるのか？～

内 容

講演1（基調講演）

「医師の働き方改革

～今後の病院の対応について」

社会医療法人ペガサス 理事長

厚生労働省「医師の働き方改革の推進
に関する検討会」構成員 馬場 武彦

講演2

「働き方改革への聖マリア病院の対応」

社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院

常務理事・病院長

中央社会保険医療協議会 委員

島 弘志

講演3

「勤務医からみた医師の働き方改革

～ワークライフバランスと医療供給
体制～」

全国医師ユニオン 代表

日本医師会勤務医委員会 委員

植山 直人

シンポジウム

社会医療法人ペガサス

理事長 馬場 武彦

雪の聖母会聖マリア病院

常務理事・病院長 島 弘志

全国医師ユニオン 代表 植山 直人

一般社団法人福岡県私設病院協会 会長

医療法人社団江頭会さくら病院

理事長・院長 江頭 啓介

Ⅲ 収益事業、法人事務等関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研究会関係

【開催結果】

ア ほすびたる編集委員会

岡嶋委員長から、報告がありました。

日 時 令和元年12月3日（火）

15:45～

場 所 オリエンタルホテル福岡

博多ステーション

協議事項

1 12月号の現況について

2 1月号・2月号・3月号の編集計画に
ついて

(2) 第69回理事会及び臨時理事会（書面表決）
の議事録について

平専務理事から、説明がありました。
了承されました。

(3) 10月分収支報告について

澄井財務理事から、報告がありました。

(4) 令和2年度県民公開医療シンポジウムにつ
いて

平専務理事から、説明がありました。

(予定)

○運営委員長：一宮副会長

○開催日：令和2年8月29日（土）

○会 場：エルガーラホール 中ホール
（福岡市中央区天神）

了承されました。

(5) 会員の変更について

平専務理事から、説明がありました。

福岡大学病院（福岡市城南区）

井上 亨 前病院長 → 岩崎 昭憲 病院長

了承されました。

なお、井上副会長退任後の理事補充など今後の方針については、改めて理事会に諮る旨の説明がありました。

(6) 地域医療構想調整会議の運用に係る要望活動の結果について

平専務理事から、11月26日に実施した要望活動の実施結果について説明がありました。また、江頭理事からも補足説明がありました。

2 協議事項

(1) カネミ倉庫(株)との油症治療費の支払いに関する契約について

平専務理事から、同社からの願い出の趣旨・内容について説明が行われ、契約更新を行うことが承認されました。

(2) 日本病院会「令和2年度診療報酬改定説明会」に対する名義後援依頼について

平専務理事から説明があり、名義後援を承諾することが決定されました。

3 行事予定

平専務理事から、説明がありました。

(1) 令和元年12月

ア 第159回看護研修会

日 時 令和元年12月22日（日）

9:20～15:30

場 所 ナースプラザ福岡

(2) 令和2年1月

ア 病院研修会

日 時 令和2年1月23日（木）

18:00～20:20

場 所 九州大学医学部百年講堂

イ 第25回四県病院協会連絡協議会

日 時 令和2年1月24日（金）

15:00～

場 所 ホテルグランヴィア岡山（岡山市）

ウ ほすびたる編集委員会・理事会

日 時 令和2年1月28日（火）

場 所 福岡県医師会館 6F 研修室3

① 15:45～ ほすびたる編集委員会

② 16:00～ 理事会

エ 第2回看護委員会

日 時 令和2年1月29日（水）

13:30～

場 所 未定

4 最近の医療情勢について

深堀理事から、国によるマイナンバーカードの健康保険証利用政策について問い合わせがあり、津留理事及び河野監事から情報提供がなされるなど、情報交換が行われました。

また、一宮副会長から、県医療対策協議会における研修医配分検討の状況について情報提供がなされ、森田理事から補足説明が行われました。



ほすびたる 12 月号をお届けします。

今月号には、12 月 3 日に開催されました「第 11 回福岡県病院協会参与・各種委員会正副委員長懇談会」の報告を、平専務理事にご執筆いただきました。当日の、参与の方々のお話の中で、「ほすびたる」にも温かいお言葉をいただき、編集委員一同、心から嬉しく思いました。

また、毎号、読者の皆様を魅了している、朔元則先生の「Letters from an aging surgeon」が、この度、一冊の書籍として刊行されました。ぜひ、多くの方々にお読みいただければと思います（「歳古りし外科医からの手紙 Letters from an aging surgeon ～Ⅱ」 大道学館出版部 2019 年）。

さて、今年、令和元年度の流行語大賞には、「ONE TEAM（ワンチーム）」が選ばれました。ご承知のように、ラグビー日本代表のスローガンとなった言葉です。日本チームの大健闘は、私を含め、日頃ラグビーにあまり親しんでいなかった人たちをも熱狂の渦に巻き込みました。ラグビーの面白さを再認識された方も多かったことでしょう。そういえば、私も、中学校の体育の時間にラグビーをプレーしたことがあります。指導していただいた I 先生は大学でラグビーチームに所属していたそうで、熱心に教えてくれました。しかし、からっきし運動がだめな私は、

楽しんでプレーするというよりも、授業なので仕方なく参加しているような状態でした。ボールをパスされたら、ゴールに向かって走らなければなりませんが、前向きに走ると捕まって転ばされるので、横方向にばかり走っていました。ついに I 先生の堪忍袋の緒が切れ、「オカジマ！お前はカニか！前に走れ！」と叱られました。後年、同窓会で、I 先生に、「先生に叱られたおかげで、その後の人生で、横に逃げず、前に進むように心がけるようになりました（実際は斜め前くらいでしたが）」とお話ししたところ、「そんなこと言ったかな～」と、大変恐縮されていました。I 先生はお元気に人生を楽しんでおられ、今でも年賀状でお付き合いをさせていただいております。

今の私のワンチーム、それは、「ほすびたる」編集委員会です。このチームは前向きに、果てしないゴールに向かって走っています。来年も素晴らしい誌面造りを目指して頑張りたいと思います。皆様のご指導、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

（岡嶋泰一郎 記）

（追）12 月初め、中村哲先生の悲報に接することとなりました。九州大学、昭和 48 年卒の同級生です。強い憤りと、深い悲しみを感じざるを得ません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

ほすびたる

第 743 号

令和元年 12 月 20 日発行

発行 ◎（公社）福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号

福岡県メディカルセンタービル 2F

TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313

E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

URL <http://www.f-kenbyou.jp>

編集 発行人 ◎（公社）福岡県病院協会

制作 ◎（株）梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1

麻生ハウス 3F

TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095

E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…赤司 浩一

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…一宮 仁

編集委員…平 祐二・澄井 俊彦

岩永 知秋・増本 陽秀

壁村 哲平・平野 礼子

歳古りし外科医からの手紙

朔 元則 著

A4 判 215 頁
大道学館出版部

定価 1,200 円＋税

本書は著者が国立病院機構九州医療センターを定年退職後に福岡県病院協会の機関誌ほすびたるに連載している Letters from an aging surgeon と題するエッセイ（第 1 部）と、九大第二外科教室や国立病院の同門会誌等に掲載した恩師、先輩、友人達への追悼文（第 2 部）で構成されている。さまざまな分野にまたがる広いテーマの問題が、該博な知識で考察され、外科医らしい歯切れの良い文章でまとめられている。

大きな活字が使用されていて、とても読み易いのもひとつの特徴であろう。

第 1 部

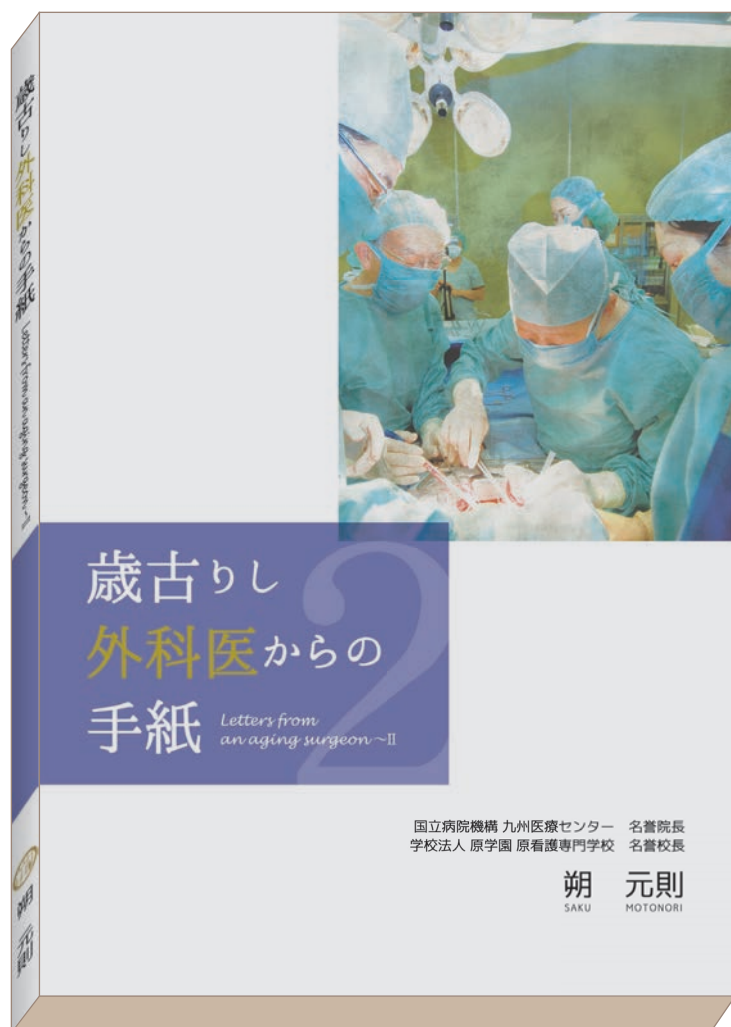
第 1 章の「右それとも左」から第 17 章の「私の名前とファミリー・ヒストリー」まで内容別にジャンル分けされている。第 6 章の「ノーベル賞、そして思考と発想」の章では、ノーベル章の裏話とともに、研究の発想に至る道程が記述されており若い人にも有益であろう。

第 2 部

著者が 80 年の人生において出会ったたくさんの人達を追悼した文章である。九大の学生時代からの親友や国立病院時代に指導を受けた恩師の姿などが生々と描写されている。

朔 元則（さく もとのり）

昭和 14 年福岡県筑紫郡竹下にて出生。福岡学芸大学附属福岡中学校、福岡県立福岡高等学校を経て昭和 38 年九州大学医学部を卒業。虎の門病院でのインターンを終了後、九大第二外科教室入局。スウェーデン Lund 大学研究員、九大第二外科講師、医局長を務めた後、昭和 53 年国立福岡中央病院外科医長に就任。その後、国立病院（機構）九州医療センター外科医長、診療部長、院長を歴任。平成 19 年九州医療センターを定年退官し学校法人原学園原看護専門学校校長に就任。現在、九州医療センター名誉院長、原看護専門学校名誉校長。平成 28 年 11 月、瑞宝中授章受章。



ご購入の申込は大道学館出版部（Tel：092-642-6895 Fax：092-651-4003）で受け付けています。アマゾンでも購入できます。